

# ASBJ Newsletter



## 目次

1. 企業会計基準委員会の概要（第273回～第276回）
2. IASB及びFASBに対するASBJのコメント（2013年10月1日～2013年11月30日）
3. FASBとの第15回定期協議を東京で開催
4. 第13回日中韓三カ国会計基準設定主体会議を東京で開催
5. 第5回AOSSG会議をコロンボで開催
6. 基準諮問会議委員の選任
7. お知らせ
  - 1) 刊行物のご案内
  - 2) ASBJ Webセミナーのご案内
  - 3) 開示実務新任者向けFASF Webセミナーのご案内

《ご注意》本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

## 1. 企業会計基準委員会の概要（第273回～第276回）

### 1) 第273回（2013年10月3日開催）

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>a. 第2回会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の報告</li><li>b. IASB公開草案「保険契約」及びFASB公開草案「保険契約」へのコメント対応</li><li>c. IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況</li></ul> |
|--|
- a. 2013年9月25・26日にロンドンで開催されたASAF第2回会議について、報告が行われました。
  - b. IASBが2013年6月20日に公表した改訂公開草案「保険契約」、およびFASBが同月27日に公表した会計基準更新書案「保険契約（トピック834）」に対するコメントの対応について、検討が行われました。
  - c. 作業部会において行われている検討が必要な項目の候補の抽出作業の状況について説明がなされ、検討が行われました。

### 2) 第274回（2013年10月17日開催）

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>a. IASB公開草案「保険契約」及びFASB公開草案「保険契約」へのコメント対応</li><li>b. IASBディスカッション・ペーパー「財務報告に関する概念フレームワークの見直し」へのコメント対応</li><li>c. 国際会議報告</li><li>d. IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況</li><li>e. 信託を通じた自社株式交付取引の実務上の取り扱いの検討</li></ul> |
|--|
- a. IASB改訂公開草案「保険契約」、およびFASB会計基準更新書案「保険契約（トピック834）」に対するコメント文案について、検討が行われました。
  - b. IASBディスカッション・ペーパー「財務

報告に関する概念フレームワークの見直し」のうち、セクション2「財務諸表の構成要素」、セクション3「資産及び負債の定義を補助するための追加的なガイダンス」及びセクション4「認識及び認識の中止」に関するコメント対応について、検討が行われました。

- c. 2013年9月に開催された、会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）会議（19・20日開催）、アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）中間会議（22日開催）及び世界会計基準設定主体（WSS）会議（23・24日開催）の各会議の概要について、報告が行われました。
- d. 作業部会において行われている検討が必要な項目の候補の抽出作業の状況について説明がなされ、検討が行われました。
- e. 実務対応報告公開草案第39号「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い（案）」に対する主なコメントの概要とその対応案について説明がなされ、検討が行われました。

### 3) 第275回（2013年10月31日開催）

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>a. IASB公開草案「保険契約」及びFASB公開草案「保険契約」へのコメント対応</li><li>b. IASBディスカッション・ペーパー「財務報告に関する概念フレームワークの見直し」へのコメント対応</li><li>c. IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況</li></ul> |
|--|
- a. IASB改訂公開草案「保険契約」及びFASB会計基準更新書案「保険契約（トピック834）」に対するコメント文案について、検討が行われました。
  - b. 2013年7月18日にIASBから公表されたディスカッション・ペーパー「財務報告に関する概念フレームワークの見直し」の質問のうち、セクション5「持分の定義及び

負債と資本性金融商品との区別」、セクション6「測定」及びセクション8「包括利益計算書における表示—純損益とその他の包括利益」に関するコメント対応について、検討が行われました。

- c. 作業部会において行われている検討が必要な項目の候補の抽出作業の状況について説明がなされ、検討が行われました。

#### 4) [第276回 \(2013年11月19日開催\)](#)

- a. 2013年12月会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) への対応について
- b. 国際会議報告
- c. 金融資産の減損に関するIASBの検討状況
- d. 従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの検討

a. 2013年12月ASAFの概念フレームワークセッションにおける議題のうち、ASBJが作成したアジェンダ・ペーパー「純損益/OCI及び測定」についての説明及び審議が行われました。また、豪州会計基準委員会 (AASB) が公表した負債に関する随時ペーパー及び欧州財務報告アドバイザーグループ (EFRAG) が作成した「説明責任 (Accountability) 及び財務報告の目的」のBulletinについて、それぞれのペーパーの説明並びにASBJからの意見発信の方向性についての説明及び審議が行われました。

b. 2013年11月前半に日本で開催された国際会議が紹介されるとともに、このうち、日中韓三カ国会議の内容について説明が行われました。

c. IASB公開草案「金融商品：予想信用損失」に関するコメント受領後のIASBでの再審議の状況と、これに関する金融商品

専門委員会での議論に関する説明がなされ、審議が行われました。

d. 実務対応報告の最終化に向けて、その後の実務対応専門委員会での審議を通じた文言の変更点に関する説明がなされ、審議が行われました。

## 2. IASB及びFASBに対するASBJのコメント (2013年10月1日～2013年11月30日)

1) [改訂公開草案「保険契約」に対するコメント](#)を提出 (2013年11月1日)

2) [会計基準更新書案「保険契約 \(トピック834\)」に対するコメント](#)を提出 (2013年11月1日)

## 3. [FASBとの第15回定期協議を東京で開催](#)

ASBJと米国財務会計基準審議会 (FASB)の代表者は、2013年10月15日と10月16日に、東京で会合を開催いたしました。この会合は、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で第15回目となりました。

ASBJとFASBは、高品質なグローバルな会計基準の開発のために、これまでも緊密な連携を図っており、本会議においては、お互いの活動の最新状況を確認するとともに、各国会計基準設定主体等の関係者間の継続的な協調関係のあり方について意見交換をいたしました。

ASBJとFASBは、国際会計基準審議会 (IASB) が現在審議を行っている「概念フレームワーク」及び「マクロヘッジ会計」について議論を行ったほか、FASBとIASBが現在共同して審議を行っている「リース」及び「保険契約」についても議

論いたしました。さらに、ASBJ と FASB は、いくつかのリサーチ・テーマについて議論いたしました。

ASBJ と FASB は、引き続き、直面する課題や今後想定される懸案事項について意見交換していくことに同意しました。なお、次回の会合は 2014 年上期にノーウオークで開催する予定です。

#### 4. 第 13 回日中韓三カ国会計基準設定主体会議を東京で開催

2013 年 11 月 6 日、東京において、日本、中国、韓国の会計基準設定主体による会議が開催されました。本会議には、企業会計基準委員会 (ASBJ) の西川郁生委員長、中国会計準則委員会 (CASC) の楊敏司長、韓国会計基準委員会 (KASB) の Suk Sig (Steve) Lim 委員長のほか、オブザーバーとして参加した国際会計基準審議会 (IASB) の 鶯地隆継 理事及び Chung WooSuh 理事、香港会計士協会、マカオ監査人会計士登録委員会からの者を含め、総勢 30 名を超える代表者が参加しました。また、会議の幾つかのセッションには、IASB から他の者も参加しました。

本会議においては、各会計基準設定主体の活動の最新状況を確認するとともに、IASB が現在審議を行っている「概念フレームワーク」のほか、「リース」及び「金融商品」並びに「保険契約」についても、充実した議論が行われました。

本会議において、各代表者は、次の事項について合意しました。

1. 国際財務報告基準 (IFRS) に日中韓三カ国からの意見がより適切に反映されるよう、三カ国の間で類似する見解又は共通する見解が得られるように、対面によ

る会議やテレビ会議等を利用してより頻繁にコミュニケーションを行うこと。

2. アジア・オセアニア地域内の基準設定主体による協力関係の促進や、グローバルな会計基準の設定におけるアジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) のプレゼンスの向上に向けて、日中韓三カ国がリーダーシップを発揮すること。

3. 各国基準設定主体及び IFRS 財団アジア・オセアニアオフィスにより行われるリサーチ・プロジェクトについて可能な限り協働すること。

次回の会議は、2014 年に中国で開催される予定です。

#### 5. 第 5 回 AOSSG 会議をコロンボで開催

2013 年 11 月 26 日から 28 日の 3 日間にわたり、コロンボ (スリランカ) にて第 5 回アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) 会議及び作業グループ会議等が開催され、17 の国と地域の AOSSG メンバー (60 名程度) が参加しました。ASBJ からは小賀坂副委員長、関口委員、紙谷ディレクターその他スタッフが参加したほか、IASB から Hoogervorst 議長、鶯地理事、張理事、Suh 理事、その他スタッフ、IFRS 財団アジア・オセアニア事務所から竹村所長が参加しました。

今回の会議では、IASB から近況報告が行われた他、IASB よりディスカッション・ペーパーが公表されている概念フレームワークの見直しについて、IASB 理事やスタッフを交えて、意見交換が行われました。また、IASB により進められている 4 つの

主要プロジェクト（収益認識、保険契約、金融商品、リース）のほか、料金規制事業、イスラム金融、農業、基準適用後レビューについても、意見交換が行われました。

さらに、IFRSに関する開発途上国への支援プログラム（“IFRS Centre of Excellence for a Developing Country”）について、1年間の活動を踏まえ、近況報告がされました。

## 6. 基準諮問会議委員の選任

FASFでは、2013年11月12日に開催した理事会において、定款第64条第1項の規定に基づき、基準諮問会議委員1名の選任を決議しました。

安井 良太 氏((株)東京証券取引所 上場部長)

(就任日：2013年11月12日)

なお、同年11月11日付で松崎裕之氏(東京証券取引所自主規制法人 常任監事)は基準諮問会議委員を辞任しております。

## 7. お知らせ

### 1) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第43号  
(2013年12月18日刊行)

#### 【主な内容】

- ✓ 特集:企業結合会計基準の公表にあたって
- ✓ Accounting SQUARE: “ディスクロージャーと企業会計基準” …大場 昭義 公益社団法人日本証券アナリスト協会 会長
- ✓ CFO Letter: “保険契約の国際会計基準と課題” …石井 一真 第一生命保険(株) 取締役専務執行役員
- ✓ Chairman’s Voice: “当期純利益とOCI

リサイクリング” …西川 郁生 ASBJ委員長

### ②国際財務報告基準(IFRS)2013 IFRS 財団公認日本語版

IASBが公表したIFRSの全内容を収録した公式出版物「International Financial Reporting Standards 2013」の日本語版。2012年中の改定内容をフォローして2013年1月1日現在で公表されている基準書等を掲載した最新版であり、合計3600頁以上に及ぶ原書の全文が翻訳されています。

基準書であるIFRS（第1号～第13号）及びIAS（第1号～第41号）、解釈指針であるIFRIC及びSICのほか、概念フレームワーク、用語集などを収録しています。強制力のある要求事項（基準本文、適用指針）を収録したPart Aと、強制力のない付属文書（結論の根拠、適用ガイダンス、設例等）を収録したPart Bとの2分冊となっています（分売不可）。

今年版の主な改定内容は、「投資企業」（IFRS第10号、IFRS第12号及びIAS第27号の修正）、「経過措置ガイダンス:連結財務諸表、共同支配の取決め及び他の企業への関与の開示」（IFRS第10号、IFRS第11号及びIFRS第12号の修正）、「IFRSの年次改善 2009-2011年サイクル」などとなっています。

※ご購入は[こちら](#)。

※第30号より、FASF会員の皆様は、季刊会計基準に掲載される記事が[ホームページ（会員専用サイト）](#)よりご覧になることができます。どうぞご利用ください

い。

## 2) ASBJ Webセミナーのご案内

ASBJ/FASFでは、FASF会員の皆様にASBJの開発する会計基準やASBJ/FASFの活動をより分かりやすく効率的に理解していただくために、Webセミナーをホームページ(会員専用サイト)で提供しています。

なお、ASBJオープン・セミナー2013年9月・10月(2013年10月1日、よみうりホールにて収録)を2013年11月1日より期間限定で掲載しておりますので、会員の皆様はどうぞご利用ください。

## 3) 開示実務新任者向けFASF Webセミナーのご案内

FASFでは、開示実務新任者向けの解説セミナーを2013年9月13日に大阪、同月17日に東京で開催しました。

同セミナーを基に、FASF発行の有価証券報告書の作成要領及び四半期報告書の作成要領を利用する上で必要と思われる知識の習得や、企業内容等の開示に関する内閣府令や財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等について体系から学ぶ開示の基礎に特化した解説セミナーとして、ホームページ(会員専用サイト)に掲載しておりますので、会員の皆様はどうぞご利用ください。

富国生命ビル 20 階

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail : [planning@asb.or.jp](mailto:planning@asb.or.jp)

Fax : 03-5510-2712

“ASBJ Newsletter” (第 36 号)

2013 年 12 月 20 日発行

発行 : 企業会計基準委員会 /

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町 2-2-2